



# 東北学院大学 チャペル ニュース

サマー・カレッジ、  
秋季特別伝道礼拝  
特 集 号

第98号 2006年11月  
東北学院大学宗教部  
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号  
〒980-8511 (022) 264-6428

● 巻頭言 ●

## 「権威ある者」

宗教部長 佐々木 哲 夫

人々は皆驚いて、論じ合った。「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ。この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く。」

(マルコ福音書

一章二七節)

みなさんは、礼拝堂の椅子に備えられている聖書を自由に読むことができます。しかし、二千年ほど前、イエス・キリスト時代の礼拝堂(会堂)では、そうでありませんでした。印刷術が発明される以前でしたし、新約聖書も書かれ

ていなかったからです。礼拝堂の人々は、ただ一生懸命に旧約聖書の写本を朗読し解説する律法学者の言葉に耳を傾けたのです。さて、その日、カファルナウムの会堂の講壇に立ったのはイエス・キリストでした。人々は、彼の言葉を聞いて非常に驚きました。なぜなら、律法学者のようにではなく、権威ある者として語ったからです。しかも、一人の男から汚れた霊が出てゆくという現象まで起きたのです。人々は、イエス・キリストが権威ある者であることを確信しました。この出来事から二つのことを学び取りたいと思います。

学びたい第一のことは、イエス・キリストが権威ある者だったことです。通常、律法学者は、「先達のラビはこう言った」とか「注解書にこう書いてある」というように、他の権威を引用して語りました。対照的に、イエス・キリストは、ナザレの会堂でもそうだったのですが、自らが事柄の起点となる言葉を語っています。この個所では、汚れた霊に男から出てゆくよう命じています。しばしば、私たちは、偉人や先輩たちの言行を手本にしたり、自分自身の知識や経験を生きる基盤に据えたりします。イエス・キリストが権威ある者であるということは、彼が私たちの人生の手本であり基盤になり得る方であることを示しているのです。

とです。律法学者は、汚れは外側の問題だと考えていました。ですから、手や体を洗って汚れを落とそうと熱心に励んだのです。対照的に、イエス・キリストは、人の中から出てくるものがその人を汚すのだと語り、解決すべきは心の内部の問題であると教えました。聴く人々にとって、それは、全く新しい教えであり、権威ある言葉だったので、私たちは、礼拝堂の椅子に備えられている聖書を自由に読むことができます。それは、心の内に及ぶ諸問題に触れる権威との出会いでもあります。また、人生の手本であり基盤となる方との出会いでもあります。礼拝堂でのそのような出会いの瞬間を大切にしたいと思います。

## 「見えない神の導き」



アメリカ改革派教会牧師・  
日本キリスト教団協力宣教師

エイブラハム・キスト岡崎

## ●詩編 七七編

皆さんは、神を思うときどんなことが頭に浮かびますか。詩篇七七編の作者であるアサフは、「動物のような嘆きの声をあげる」と言っています。アサフは他にも神をたたえる詩編を多数書いているのですが、しかしこの時は神の恵みや憐れみではなく、自分が最も苦しいときに黙っている神しか浮かばないのです。私にもそういう時がありました。私は五人兄弟ですが、みんな聖書から名前が付けられています。家族そろって熱心に教

会生活をしていたのに、両親

は私が中学生の時突然に離婚しました。私は神様に心から願いました。家族を戻してください。でも叶えられず神は何も聞いていない、いやもともと神はいないのだと失望しました。

アサフの場合は、苦しみを抱える中で慰めを得ようと神が遙か昔になさった奇跡を思い出しました。それはモーセによる出エジプトの出来事です。奴隷の民を解放し、追ってくるエジプトの軍隊の目の前で、海が二つに分かれる、

有名なシーンをご存じでしょう。アサフはその出来事を思い起こす内に、あることに思い当たりました。「あなたの足跡はたずねえなかった」（口語訳）ということでした。

神の偉大な奇跡が起こっている最中でも、神の姿は見えませんでした。神はご自分の代わりに「モーセとアロンの手をとおして」ご自分の民を導かれたのです。

振り返ってみると、両親が離婚した頃、私は教会に足繁く通っていました。というのは、まだ若かった牧師と毎週のようにバスケットをしているからです。身長が二メートルもある牧師が、どうして自分を誘ってくれていたのか不思議でしたが、今なら理由が分かります。やはり教会にいた20才くらいの青年ビルが、

ギターを教えてくれたり何かと世話を焼いてくれました。

だんだんと私は音楽に目覚め、そのち作曲を通して再び神様に祈ることが出来るようになります。私にとっては彼

らが「モーセとアロン」として与えられていたのです。逆に、私が大学卒業後ロススクールに通っていた頃のルームメイトを思い出します。私と彼には共通点がありました。同

い年で出身も似ており、やはり中学の時に両親の離婚を経験していました。違いは、私は大学を出たばかり、そして彼は出所したばかりだったことです。彼の場合、中学時代に孤独からドラッグへの依存が始まりそこから犯罪に手染めました。私も彼のようになる可能性は十分あったのです。

私が神に訴えかけ、そして神はいないとあきらめた時も、神は私を見捨てていませんでした。教会という神の民を通して、私を導いてくれたのです。あの時の牧師も、ビルも、普通の人間でした。モーセとアロンも、立派な聖書の人物のようですが実はいろいろ間違いを犯しています。私たちと同じです。私が助けられたように、神はまた私たちの手

をとおして神の恵みを示されるかもしれません。クリスチャンの目的は仙人のように山にこもって悟りを開くのではなく、人々に愛を送ること、「SEND愛」（仙台）ということなんです。これは東北学院の人だけでなく、クリスチャン全てに与えられた使命です。

# 「自分の垣根を越えて」



アメリカ改革派教会牧師・  
日本キリスト教団協力宣教師  
キリスト岡崎・さゆり

## ●エフェソの信徒への手紙

### 二章一四〜一六

私が二五歳でアメリカに留学したとき、最初に驚いたのが「原爆」に対する考え方の違いでした。日本人の私にとっては起こってはならないことのはずなのに、加害者側のいわゆるアメリカ人の「戦争を早く終わらすために仕方がなかった」という意見がとても

非情に感じました。ところが東南アジアや台湾からの移民の人たちと話をすれば、今度は日本軍に侵略されていた被害者として、「原爆が落ちたおかげで戦争が終わり、自分たちは救われた」と言うのです。それまで私が持っていた概念が、実はいかに自分の小さなテリトリーの中で培われたものだったかを知る機会でした。

それ以来、自分の垣根を越えて「この人の立場だったらどうだろう?」と思いつくせざるようになりました。もし、私は私でしかないと思いつけ、自分とは違う人たちが「彼らは私とは違う・分かり合えない」としてしまったらどうでしょう。日常の中で意外としていることではないでしょうか。似たもの同士のグループを作り、自分とは違う人たちをエイリアンにし、遠ざけ疎外するのは、そうやって自分を守り、自分は変わらずに

傷つかずにいたいのかもかもしれません。けれどもそれは皆同じです。同じだからこそ「立場が変われば私もあの人と同じだったかもしれない」と同情や共感をもって思えば、私たちが共通に持っている自己中心や自分かわいさの「罪」が見えてきます。そして私たちの罪こそ、お互いの間を裂き、疎外させ、溝を深める本当の敵です。しかし私たちはその溝をなかなか埋められません。

そのため、神様ご自身が垣根を越えてやってきてくださいました。その出来事が、イエス・キリストです。ご自分は罪もなく正しい方です。それなのに、私たちが自らの愚かさから互いを傷つけ合うのを見て、「バックカミたい。私だったらあんな事はしないね」とはおっしゃらずに、「ああ、かわいそうに」と思われたのです。そして自ら人間として、私たちの悲しみやつらさを一

緒に体験して隣を歩いてくださり、さらには私たちの罪の結果である十字架の死を負ってくださいました。

私の会った普通のアメリカの人たち、その中でもヘンリーという年配の男性のことが忘れられません。第二次世界大戦で日本人を敵として戦った彼は、今でも日本人が許せないと言いました。「けれども、あなたの話を聞いて日本にもキリストにある兄弟姉妹がいるんだと、キリストは日本人を愛しているんだと思わされ、神によって徐々に和解に導かれています」と私に語り、抱き合いました。それぞれの深い思いは分かり合えないし、憎しみは完全には消えないかもしれないかもしれません。けれどもキリストによる和解は、ただ相手を赦すに終わらず、自分の中の神との和解、神様を見上げてにっこりすることが出来る心の平安を与えてくれると思えたのです。

## 秋季特別 説教者紹介 伝道礼拝

◆エイブラム・キスト岡崎宣教師

アメリカ・ウィスコンシン州出身。一九八六年ミシガン州ホーパカレッジ卒業後、ウェスタン神学大学院卒業。一九九一年牧師接手。一九九五年宣教師に任命され来日。

現在、日本キリスト教団東京教区南支区協力宣教師並びにフェリス女学院評議員。

【エイブラム先生には一〇月四日に多賀城、土樋(夜)の礼拝をご担当いただきます】

◆キスト岡崎さゆり宣教師

東京都出身。一九八七年立教大学大学院卒業後、ウェスタン神学大学院卒業。一九九五年ニューブランズウィック神学大学院卒業。牧会修士牧師接手、宣教師に任命され、来日。

現在、日本キリスト教団東京教区南支区協力宣教師並びにフェリス女学院理事、福岡女学院評議員。

【さゆり先生には一〇月三日に泉、一〇月四日に土樋(朝)の礼拝をご担当いただきました】

## サマー・カレッジ講演要旨

## 「主とともに賛美しよう」



日本基督教団  
荻窪教会牧師 小海 基

私が東北学院大学文学部史学科に入学したのが一九七七年、卒業後基督教学科に学士編入したのが八一年。当時の学院大は本当に歌に溢れていました。

TVのチャンネルを回せばOBのさとう宗幸さんの「青葉城恋歌」がいたるところで流れ、すぐ上の学年には後の「ハウンドドッグ」の大友康平さんが軽音楽部を舞台に暴れまわり、尊敬するキリスト者の大学職員の四人組が「モリゴーフォー」という宗教音楽専門のクァルテットでミクナムレーベルからデビュー。私は聖歌隊に属していましたが、ライバルのヒムネンコールには後のロシア物のプロ合唱団として合唱界に衝撃を与える「東京トロイカ合唱団」のオクタピアン(男性低音バスの更に一オク

タープ下を出す歌手。ロシアの合唱曲では不可欠な存在だが、ここまで低い声を出せる人は日本どころか世界でも僅かしかない)として大活躍する鈴木雪夫さんがいましたし、同級生の妹さんには現在世界中のオペラ劇場で引っ張りだこのソプラノ歌手菅英三子さんが、更にはプロの演歌歌手としてデビューした職員が、といった具合です。

土樋の礼拝堂のベッケラート社製パイオルガンの設置には私もアルバイトで参加、毎月古楽器によるパッハのカンタータ本邦初演が礼拝堂で続けられ私も合唱団の一人として参加、H・リリングも来日して宗教音楽のレクチャーが開かれ、仙台市民オペラも始まる。こんな環境で学生生活を送ったものでは

ら、後に教団讚美歌委員として『讚美歌21』編集に携わる事になったのも学生時代の延長みたいな感じでした。

私が学生の頃、サマー・カレッジは始まったばかりの時代でした。当時は青根にあった温泉付のセミナーハウスを会場に、二日目の夕食は皆で煤けた真つ黒な顔になりながら火おこしをしてバーベキューをするという手作りキャンプでした。このサマー・カレッジが「総合大学」に入っただけの豊かな出会いがある場として私は毎年楽しみにしていました。当時は工学部の学生や先生方も参加していて、互いに卒論の話などをしながら、なるほど文系と理系の発想はこんなに違うのかと新鮮な思いを抱いたものです。普段の学生生活では「総合大学」とはいつても、キャンパスが分かれていれば共に礼拝することも、クラブやサークル活動もする機会もほとんど無いわけですが、サマー・カレッジでは寝食を共にし、心ゆくまで語り合う事ができたわけです。案外理系の人のほうがキリスト教に素直に触れるのだなと妙に

感心したりしたものです。

☆

三〇年ぶりの参加となった今回のサマー・カレッジは「主と共に賛美しよう」というテーマで、私の関係した「讚美歌21」に収められたフランスのテゼー共同体の賛美歌を中心に「聖書」そのものを歌うことを大切にする賛美歌の流れ(宗教改革期に改めて再確認された)をたどっていきました。私が学生の頃よりもサークルとしてはるかに大きく成長した聖歌隊のメンバーが多く参加してくれたこと、キリスト教学科の学生たちも多く参加してくれたことで、とても主題講演をスムーズに進めることができたのは感謝です。参加者たちはグループを作ってテゼー共同体の賛美歌をひとつ課題曲に、それに自由曲を加える形で賛美歌合唱大会を最後に行ないました。

美歌作家を生み出し、歌に溢れていた伝統あるキリスト教学校でも、最近では「礼拝で歌わない」「卒業式に賛美歌や聖書をこれみよがしに捨てていく」…などという報告を先生方からよく聞かされて、早く賛美歌改訂を行なわないとキリスト教学校の根幹に関わる事態を招きかねないと「讚美歌21」編集作業を急いだものです。それでも前の「一九五四年版」から四三年もかかってしまった改訂作業でした。正直なところ、おそらく東北学院大ですらも、私たちの学生時代よりも賛美の声が小さくなっているのではという懸念はあったのです。

しかし少なくともサマー・カレッジに出てみてそうした心配は学院大では杞憂であった事がよく分かりました。昔ながらにというより、昔以上に歌声に溢れている後輩たちに出会って幸せでした。こうした中から未来の賛美歌作家がどんどん生まれてくることを期待しています。皆さんの学生生活に主の祝福を祈ります。



## Becoming a Foreigner-The Joys and the Sorrows



文学部 デビッド・N. マーチー

I have often talked with students who have gone to another country as exchange students. Most eventually return to their home country as changed men and women. What changed them? Was it the facts they learned about the other country's history and culture? Was it the sight of famous landmarks and relics? As good and interesting as these things are, I do not think they are the reason why the students changed. I believe that what changed them was their experience of adjusting to living in a new land and with the people of that land. Such an experience can be humbling, frustrating, and even frightening. For most students, however, the experience was exhilarating and stimulating, and one they want to relive over and over again.

The Old Testament prophet Daniel spent most of his life as a foreigner in Babylon. Unlike exchange students, however, Daniel was forced to live and work in Babylon when he was captured by the Babylonians and taken to their king's palace. In the first few chapters of the book of Daniel, we learn about Daniel's experience as a foreigner in Babylon. His first few years as a young man in a strange country must have been difficult. Nevertheless, Daniel learned much in his new environment. He took advantage of the good education he received in the king's palace. He quickly learned the arts of negotiating with other people to accomplish his own purposes. For example, though he accepted the new Babylonian name he was given, he also negotiated an agreement with the palace master whereby Daniel and his Hebrew friends would be allowed to follow the dietary rules of their Hebrew faith rather than eat the king's food. These were valuable lessons in diplomacy that helped Daniel later to become a very influential person in Babylonian politics, in spite of the fact that he himself was not Babylonian.

Daniel also learned to get along well with the people of his new country. Even though he had been brought to their country against his will, he showed that he was concerned about the welfare of the Babylonian people. On one occasion, King Nebuchadnezzar commanded his wise men to tell him the content of one of his dreams and to interpret that dream. When the wise men were, understandably, unable to fulfill that impossible command, the king was furious and ordered that they be executed. Daniel, however, spoke with the king's chief executioner, expressing Daniel's concern for the lives of the men the king wanted executed. Daniel encouraged the executioner to wait while Daniel spoke with the king and, with God's help, told the king about his dream. Though Daniel strongly opposed the religion and practices of the king's wise men, he was nevertheless deeply concerned about their right to live and the injustice of the proposed execution. Through this humble act of religious tolerance and human concern, Daniel was able to save the lives of these men. What a great testimony this was to the loving and merciful nature of the God Daniel worshiped.

Daniel was a foreigner whose life flourished in his new land. He most certainly became a good student of the Babylonian culture and language. More importantly, however, he also learned to respect the people of his new country and to treat them with love. There is no better way to live productively in a foreign country.

二〇世紀は未曾有の悪の時代だったと言われます。二二の大戦で行われた大量殺戮は、アウシュビッツ、ヒロ

### 土樋キャンパス



土樋 啓博  
大学宗教主任

シマ・ナガサキの名と共に、人類史上の汚点として永遠に記憶されるべきでしょう。ところで人類は、ここから何を学んだのでしょうか。その後の核兵器による軍備拡張競争や全地球的な環境破

壊の進行は、人類を滅亡の不安に陥れました。また、どこまでいかに知らない暴力の応酬は、人類の叡知に對する根本的疑問を私達に抱かせます。どうやら二〇世

紀は、まだ終わっていないようです。私達は今どのような時代に生きており、またどこに

暑かった夏も過ぎ去り、秋、

そして冬への準備を始める時となりました。自然に恵まれた多賀城キャンパスの周囲は、季節の変化を良く映し出してくれます。今は、収穫の秋であると同時に、思索の秋でもあると思います。それぞれの

### 多賀城キャンパス



野村 信  
大学宗教主任

取り組むべき課題に情熱をもって取り組んでください。さて、二十一世紀を迎えて、私たちの取り巻く環境は、新し

い課題に直面しています。二十世紀に華やかな発展を遂げた科学技術と日本の経済も、今、新たに模索が始まり、様々な事柄が再検討を求められ、また新しい視野が要求されています。しかし、一方で、人間にとって、基本的に大切なものも、もう一度再確認し、継承していく時があります。すなわち、変えるべき

行こうとしているのでしょうか。ここで思い出されるのは、エデンの園で神から離れようとする人間に向かって神が語りかける、「あなたはどこにいるのか」という言葉です(創世記三・九)。聖書は必ずしも私達の問題に直接答えませんが、そのヒントが隠されています。

## 各キャンパスのメッセージ

ものと変えてはならないものを確認するというところでしようか。大学は、変えてはならないものとして、聖書の教えに立つて人間と世界、さらに未来を見つめるように教えています。この視点を大事にして、新たな可能性を探る歩みをしたいたいものだと思います。

### 泉キャンパス



永井 義之  
大学宗教主任

ローマ帝政期の風刺詩人ユウェナリスの言葉として伝えられる mens sana in corpore sano (健全な肉体の中に健全な精神)、これは「健全な精神は健全な肉体に宿るから、肉体を鍛えよ」という意味だと誤解をしている人が多いらしい。「健全な精神」とは具体的に「ストア思想の理想である、何があってもめげず、落ち込まず、運も不運も幸も不幸も従容として受け入れる「心の平靜さ」(アトラクシ

ア)のことでそうした健全な精神と健全な肉体と二つそろえばそれに越したことはない、あれがほしいこれがほしいと願うのだったら何よりそう神に祈るべきだというのが元の意味で、肉体だけは健全で精神は病んでいる人間に対する風刺だということです(大西英文)。

実りと収穫の秋という時期を迎え、礼拝での神の言葉と祈りのときを大切にしたいと願うものです。

הקחה תורה ונבחרו וישיב על פני תהום ורחם אלהים מרחם  
המנים: 3 ויאמר אלהים יתי אור ויהי אור: 4 ויברא  
האור כפי טוב ויבדל אלהים בין האור ובין החושך  
אלהים לאור אים ויאשיף קרא מלה ויהי ערב ויהי  
קום: 5 ויאמר אלהים יתי רקיע בתוך המים  
בין קום למים: 7 ויעש אלהים את הרקיע ויבדל בין  
מסחת למים ובין המים אשר מעל לרקיע ויהי יום  
אלהים לרקיע שמים ויהי ערב ויהי בקר וים שמי  
ויהי קום: 9 ויאמר אלהים יקום המים מסחת השמים אל מקום:  
10 ויבדשה ויהי קום: 10 ויקרא אלהים לרקיע שמי ויהי  
קום ימים ויברא אלהים כפי טוב: 11 ויאמר אלהים תן  
לשם עשבו מוריש זרע עיני פרי עשה פרי למימי:

# キリスト教 Q & A

1 Εν αρχη ην ο λογος, και ο λο  
και θεος ην ο λογος. 2 ουτος ην ε  
3 παντα δι' αυτου εγενετο, και χω  
εν. 4 ο γεγονεν 4 εν' αυτω ζωη  
φως των ανθρωπων: 5 και το φω  
και η σκοτια αυτο ου κατελαβεν.  
6 Εγενετο ανθρωπος 6 απεσταλμ  
αυτω Ιωαννης: 7 ουτος ηλθεν ει  
τηρηση περι του φωτος, ινα παντες  
8 ουκ ην εκεινος το φως, αλλ' ινα  
φωτος. 9 Ην το φως το αληθιν  
ανθρωπον, 9 ερχομενον εις τον κοσ  
ην, και ο κοσμος δι' αυτου εγενετ  
ουκ εγνω. 11 εις τα ιδια ελθεν

## Q 宗教改革とは何ですか？

宗教改革は一五一七年、ド  
イツの修道士マルティン・ル  
ターが「九五ヶ条の提題」を  
提出し、当時ローマ教会で行  
われていた「贖宥符」を批判  
したことに始まりました。こ  
の「贖宥符」とは、これを買  
うと罪が赦され、魂が救われ  
るといふもので、これが生み  
出された背景には、「人は  
『良い行い』をすることによっ  
て救われる」という当時のロー  
マ教会の考え方がありました。  
つまりこの考えによると「良  
い行い」が十分に出来ない人  
は救われないことになり、そ  
のような「罪深い」人々に贖  
宥符は罪が赦される可能性を  
提供し、しばしの心の安らぎ  
を与えていたのです。  
これに対してルターは、こ  
の実践が聖書の考えに基づか

ないものであると批判しまし  
た。聖書によると、「救い」  
とは「良い行い」を重ねて得  
られるのではなく、まして  
やそれが出来ないからといっ  
てお金によって得られるもの  
では到底ありえず、それは  
「信仰」によって与えられる  
ものだとしたのです。つまり、  
良い行いをして良い人間にな  
ろうとすることが大切なので  
はなく、逆に良くなるうとし  
ても十分には「良くありえな  
い」自らの弱さを知り、痛み、  
苦しむ中で、それにもかかわ  
らず自らを生かされる神を知  
る、その「信仰」によって人  
は救われると言ったのです。  
その後ルターは審問にかけ  
られ、この考えを撤回するよ  
う求められますが、彼は「これ  
は自らの考えでなく、聖書の  
考えである」といって譲らず、  
ついには破門されます。しか  
し彼は多くの支持者を得て、

## Q 新約聖書はなぜギリシア語で書かれたのですか？

新約聖書がなぜギリシア語  
で書かれたか、ということとは、

この聖書の考えに拠って立つ  
新しい教会をつくることにな  
りました。ここにプロテスタ  
ント教会が生まれたのです。  
このように宗教改革はキリ  
スト教に「聖書に立ち返る」  
ことを教えた重要な「改革」  
でしたが、同時にそれはキリ  
スト教、そして当時のヨーロッ  
パ社会を二分する結果をもた  
らし、度重なる戦争をも生み  
出しました。それから四〇〇  
年以上たった一九六〇年代に、  
ようやくローマ・カトリック  
教会とプロテスタント教会の  
対話が始められ、今日、同じ  
聖書に立つキリスト教として  
相互の理解が深められようと  
しています。(村上 みか)

原始キリスト教が宣教活動を  
展開する舞台となった当時の  
地中海世界の文化的状況と深  
く関わっています。世界史で  
学ばれたことと思いますが、  
紀元前四世紀末にマケドニア  
の王アレクサンドロスの遠征  
によって、地中海の東半分か  
らインダス川にまで及ぶ大帝  
国が出現した結果、その後の  
地中海世界は言語・文化・社  
会制度においてギリシア文化  
の影響を受けた「ヘレニズム  
時代」を迎えます。「ヘレニ  
ズム」とは「ギリシア風」で  
あることを意味します。  
このヘレニズム時代に広く  
流通していたギリシア語は、  
古典期に用いられた古典ギリ  
シア語と区別して、コイネー・  
ギリシア語と呼ばれます  
「コイネー」とは「共通の」  
という意味です。それまで  
パレスチナに居留していたユ  
ダヤ人の中から、この時代に

# クリスマス礼拝 の ご案内

## ★第18回 泉キャンパスクリスマス

12月1日(金) 18:30~

泉キャンパス礼拝堂

第一部

礼拝

説教者：日本基督教団

仙台長町教会

半澤 洋一牧師

第二部

クリスマスコンサート

オルガン演奏、クリスマス・メドレー

演奏、みんなで歌おう、聖歌隊合唱、

キャンドルサービス、他

## ★大学クリスマス

泉キャンパス

12月13日(水) 14:30~

土樋キャンパス

12月13日(水) 18:00~

多賀城キャンパス

12月14日(木) 14:30~

説教者：東京神学大学

教授 T.J.ヘイスティングス先生

オラトリオ「メサイア」合唱

## ★第57回 公開東北学院クリスマス

12月15日(金) 18:00~

土樋キャンパス礼拝堂

説教者：日本基督教団

輪島教会

勇 文人牧師

オラトリオ「メサイア」合唱

なると地中海の様々な都市に移り住む人々が増え、彼らは「ディアスポラ(離散)」のユダヤ人と呼ばれるようになります。やがて時の経過につれて、これらの人々のためにヘブライ語の聖書を当時の共通言語であるギリシア語に翻訳する必要が生じ、アレクサンドリアで『七十人訳聖書(セプトアギンタ)』という旧約聖書のギリシア語訳が成立

します。新約聖書に見られる旧約聖書の引用は、このギリシア語訳に基づいています。福音書の成立に先立って新約聖書の中で最も古い文書はパウロの手紙ですが、地中海世界の諸都市に伝道活動をしたパウロもまた、小アジアのタルソス出身で、ディアスポラのユダヤ人でした。彼はヘレニズム諸都市でギリシア語を用いて精力的に伝道し、当

時の諸教会に宛てた書簡をギリシア語で書きました。キリスト教伝道がギリシア語で行われたことは、キリスト教がユダヤ教の一派である初期の状態から、やがてユダヤ教とは異なる独自の宗教として地中海世界に広がってゆくに非常に有利に作用したと言えます。(出村みや子)

### 編集後記

後期が始まり、夏休み気分がいつまでも浸っていません。一年の半ばを過ぎて、マラソンで言えば折り返し地点通過という時点に今いることになりました。

当初の計画、予想どおりだったでしょうか。でもまだ半分残っています。まだ挽回のチャンスはあります。この道をひた走り抜こう。

(NA)